

KAKEHASHI

病院機能評価を受審しました！

2025/9/24-2025/9/25

みなさん、お疲れ様でした！



病院機能評価の受審は多くの職員にとって初めての経験でした。何から始めてよいか戸惑いながらも、診療・看護・コメディカル・事務など、全部門で見直しやマニュアル整備に取り組みました。約1年前にプロジェクトチームを立ち上げ、他院見学や模擬審査を重ね、全職員で準備を進めました。その結果、環境整備や規程の見直し、チーム医療の推進、カルテ記載の標準化など多くの成果を得ました。受審当日は緊張の連続でしたが、自部署アピールもしっかりと行い、職員一人ひとりの努力が病院全体の成長とチームワークの強化に繋がりました。

今後も「患者さんから選ばれる病院」を目指して取り組みを続けて参ります。

病院機能評価とは？



病院機能評価は病院の質改善活動を支援するツールです。日本の病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、中立的、科学的・専門的な見地から評価を行います。

病院機能評価 HP より引用

<https://www.jq-hyouka.jc GHC.or.jp/about/summary/>

トピックス

●病院機能評価 実施報告

●診療科紹介

一整形外科

一泌尿器科

●特定看護師の活動

CHECK !

公式 SNS やってます！

フォロー・チェックをお願いします。



JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院

診療科 紹介

整形外科

関節・脊椎・骨折を中心に地域の健康をサポート

当院整形外科では、関節や背骨（脊椎）の病気、そして転倒などによる骨折を中心に、幅広い診療を行っています。膝や股関節の痛み、腰や首のしびれなどの加齢による症状から、スポーツや日常生活でのけがまで、地域の皆さまの「元気に動ける力」を支える医療を目指しています。

6名によるチーム体制

整形外科には現在 6 名の医師が在籍し、それぞれが専門分野を生かしてチームで診療にあたっています。特に**脊椎疾患・下肢の人工関節手術・骨折治療**を三本柱としており、確実な診断と丁寧な手術、早期の社会復帰を目指したリハビリに力を入れています。脊椎と人工関節は専門外来を開設しております。骨折では、救急対応から手術、リハビリまでを一貫して行う体制を整えています。

前列左より、大河内誠、佐藤雅経、川島雄二
後列左より宮本峻平、宮川秀俊、飯塚征

＼患者さん一人ひとりに寄り添う診療を大切にしています／



整形外科 常勤医師

「治す」から「防ぐ」へ 骨折リエゾンサービス (FLS)

近年、当科では**骨折リエゾンサービス (FLS : Fracture Liaison Service)**にも積極的に取り組んでいます。これは、骨粗しょう症による骨折をきっかけに、再び骨折しないよう支援する仕組みです。一度骨折を起こすと、次の骨折が発生する確率が非常に高まることが分かっています。整形外科を中心に、リハビリテーション科、看護師、薬剤師、栄養士など多職種が連携し、骨密度検査や薬物治療、生活指導を行います。「骨折を治す」だけでなく、「骨折を防ぐ」ことを目標に、地域全体で取り組みを進める拠点の役割を担います。



地域の皆さんへ



これからも当院整形外科は、専門性の高い丁寧な医療を提供することを心掛けていき、皆さまの健康と生活を支えてまいります。気になる症状や心配ごとがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



JCHO 横浜保土ヶ谷中央病院

診療科 紹介

泌尿器科

診療内容・特徴

尿路結石、排尿障害などの泌尿器領域の良性疾患を中心に、
泌尿器癌、男性不妊まで幅広く対応しています。
病診連携のみならず、近隣の病院の泌尿器科との病々連携も
密に行ってています。
特に、急に日常生活の ADL に問題をきたす尿管結石について
は、早期の確実な治療を心がけています。



腎・尿管結石の治療

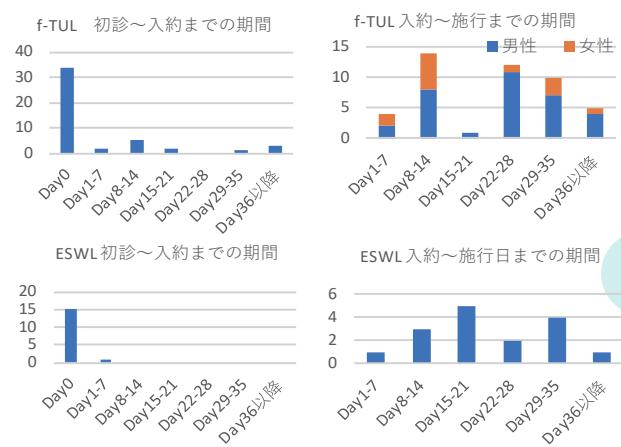
尿管結石は急激に発症します。結石が尿路を閉塞することにより疼痛が出現、診断は CT やレントゲン、エコーなどで行います。治療は、小さい結石では自排石をまつこともあります、衝撃波で結石を破碎 (ESWL) や内視鏡的な手術 (f-TUL) などがあります。多くの症例では、当日に CT など診断のうえ、自排石を待つ症例以外、多くの症例で受診当日に治療の予定をたてています。治療方法は、結石の状態や社会的状況、ご希望などにより治療方針を決定しています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
経尿道的尿路結石碎石術(f-TUL)	82	82	85	68	87
体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	42	25	23	31	27

日常生活への影響を考慮した治療選択

疼痛が断続的に出現する可能性があるため、日常生活に影響のある良性疾患である尿路結石は、可能なら早期の治療が望ましいです。ですが、良性疾患であるがゆえに、**休暇の取得などの社会的状況も考慮した治療選択**をとることが可能です。

当院では、早期に治療を希望の方は、早ければ当該週または翌週の治療を行っていますが、社会的な希望や併存合併症等により、3 - 4 週後に治療をすることも多く、二峰性となっています。(2022 年度調べ)



新たな取り組み

2024 年より、f-TUL 後の尿道カテーテル留置で疼痛を感じることが多い男性のうち、排尿障害のない、60 歳以下かつ術前や術中に問題のない症例に対して、**カテーテルの留置をしない取り組み**を開始しています。



院内活動

特定看護師5名活動開始！

当院は、厚生労働省の『看護師の特定行為に係る指導者等育成事業』実施団体であるJCHO病院の一つとして**看護師特定行為研修**を実施し、5名の特定行為看護師が誕生しました。



✓ 特定行為研修にあたっては、

医師の指導が必須です

院内では各診療科の指導医をはじめ、手術室での麻酔科医の指導、また外部指導者として**小林内科・循環器クリニック**（羽沢横浜国大前）**院長 小林 俊一 先生**のご協力のもと無事研修を終えることができました。

特定行為研修修了の
記念ロゴ



✓ 7月より医師の診療補助として

以下の特定行為活動を開始しました

1区分：動脈血液ガス関連

2行為：①直接動脈穿刺法による採血 ②橈骨動脈ラインの確保

✓ 9月より RRS(Rapid Response System) 院内迅速対応システムの プレ活動を開始しました



医師と特定行為看護師がチームとなり、**RRS**のプレ活動が開始しました。多くの急変事例には前兆があるという点から、HCU入室患者、HCU退室後1週間以内の患者および各病棟で、「なんか変だな」、「ちょっと心配だな」と思う事例の相談に対応することにしています。診療科の垣根を越えて、患者様の安全を第一に活動していきます。



独立行政法人地域医療機能推進機構
横浜保土ヶ谷中央病院

発行：横浜保土ヶ谷中央病院 広報委員会

〒240-8585 横浜市保土ヶ谷区釜台町 43-1

TEL : 045-331-1251 (代表) FAX : 045-331-0864